

2025年1月8日

## コスモス調剤(309A)

### 調剤薬局事業を中心に、ジェネリック医薬品卸売事業、薬剤師国家試験対策予備校事業を展開

TOKYO PRO Market | 薬品 | 会社紹介

BLOOMBERG 309A:JP | REUTERS 309A.T

- 愛知県を中心に主な事業として調剤薬局事業を展開。「支える医療」の実現に向け、患者の自宅や高齢者施設を訪問する在宅サービスに注力。
- 調剤薬局事業を中心に、ジェネリック医薬品卸売事業、薬剤師国家試験対策予備校事業の展開を通じて地域社会とのつながりを強化。
- それぞれの事業が相乗効果を発揮し、地域医療社会に貢献すると同時に人材採用・育成やM&A積極化にも強みを有する。

#### 同社の事業について

調剤薬局関連事業の単一セグメントである同社事業は、①調剤薬局事業、②ジェネリック医薬品卸売事業、③薬剤師国家試験対策予備校事業に区分される。2024/3期売上構成比は①が93%、②と③を含む「その他」が7%を占める。特長・強みとして以下の点が挙げられる。

第1に、処方箋に基づく医薬品の調剤業務を行う調剤薬局事業を中心に地域社会とのつながり強化に注力している点である。店舗での服薬指導や健康相談だけでなく、在宅サービスを通じて患者の自宅や高齢者施設を訪問するほかジェネリック医薬品卸売事業を通じて安全・高品質な医薬品を低コストで安定供給することで地域社会に貢献している。調剤薬局事業では、地域医療への貢献のため異なる医師・病院からの処方箋を受け付ける「面処方の受付」に取り組むことでサービス範囲拡大が見込まれる。国策として医療費の継続的抑制が求められる中で調剤報酬算定上も後発医薬品が重視されることから、ジェネリック医薬品卸売事業が競争優位の源泉となっている。薬剤師国家試験対策予備校事業も医療現場で活躍できる薬剤師を輩出することで地域社会に貢献している。

第2に、人材採用および研修・育成における優位性である。薬局の開設・経営で全ての店舗に薬剤師の配置が義務付けられるほか、調剤業務は薬剤師の独占業務である。同社は愛知県を中心にドミナント出店により有機的かつ効率的な採用・配属が可能で、店舗拡大に向けた薬剤師採用で優位にある。直近で男性の育児休暇取得率が100%に達するなど職場環境改善に積極的であるほか、薬剤師の独立支援制度も整備している。

第3に、業界の後継者不足を背景としたM&A積極化である。店舗引継ぎにより経営の切れ目なく、地域社会とのつながりの強化に貢献できる。規模の拡大は、薬剤師の労働環境改善のための投資余力や人材登用の多様性を広げ、採用および経営面での競争優位性を高めることもできる。

#### 業績と見通し

2024/3通期実績は、売上高が前期比6.6%増の61.87億円、営業利益が同218.5%増の3.19億円。新規出店、新型コロナウイルス感染症の5類への変更起因した従来型疾患の受診者数の増加を背景として処方箋枚数が増加したことが業績に貢献した。

2025/3通期会社計画は、売上高が前期比1.1%減の61.17億円、営業利益が同9.5%減の2.89億円。調剤報酬改定により24年10月から長期収載品の選定療養（後発医薬品がある先発医薬品を希望する場合に特別な料金を負担する制度）が実施されることは調剤報酬上の薬剤料減収要因になる一方で、M&Aや新規出店による店舗数増加が成長を牽引する見通しだ。

#### 業績推移

(百万円未満切り捨て)

事業年度	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3F
売上高(百万円)	5,094	5,804	6,187	6,117
経常利益(百万円)	168	210	326	300
当期利益(百万円)	10	19	27	182
EPS(円)	4.88	9.42	11.84	60.17
PER(倍)	143.44	74.31	59.12	11.63
BPS(円)	344.91	397.57	307.54	-
PBR(倍)	2.03	1.76	2.28	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	-

(※)2024/10/17付で普通株式1株を5,000株とする株式分割を実施したが、EPS、BPS、配当などの1株当たり指標は、前後の比較のため、株式分割による発行済株式数の増加が2022/3期の期首にあった前提で計算し直している。

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)



A member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

配当予想(円) - (会社予想)  
株価(円) 700 2025/1/8(終値)

#### 会社概要

1999年12月に愛知県稲沢市にて調剤薬局の運営を目的として、前身の有限会社中央調剤を設立。「患者様とクリニックの懸け橋として、健康と安心に貢献するマザーカンパニーを目指します。」の経営理念の下、調剤薬局事業を主な事業として愛知県を中心に運営する。

調剤薬局事業の重要な役割として、「支える医療」の実現に向けて在宅サービスに注力するほか、ジェネリック医薬品卸売事業、および薬剤師国家試験対策予備校事業を展開する。これらの事業展開を通じて、患者、医療機関、地域社会との「つながり」を強化し、地域包括ケアシステムの安定、安心できる社会の発展に貢献する。

2025年1月8日にTOKYO PRO Marketに新規上場した。

(1)調剤薬局事業は、医療機関から医師の診断を経て発行された処方箋の指示に基づいて、薬剤師が医薬品を調剤して患者に受け渡す。その中で、在宅サービスは医療機関や介護施設と密に連携を進めながら個人宅や介護施設へ薬を届け、服薬に関する相談に応じている。

M&Aにも積極的に取り組み、人材や知識、技術を共有することでより広範囲の患者に高品質のサービスを提供することを目指している。

(2)ジェネリック医薬品卸売事業は、同社グループの調剤薬局事業に対して医薬品供給と物流機能を提供するとともに、愛知県内の一般医療機関に対してジェネリック医薬品を提供する。

(3)薬剤師国家試験対策予備校事業は、東京、名古屋、大阪に事務所を置き、通学生を受け入れて専任講師による通年の試験対策講座を提供するほか、全国の大学の薬学部を中心とした教育機関からの試験対策講座の運営等の事業を請け負う。

#### 企業データ

主要株主(2024/12/5) (%)  
1 株式会社メイホク 100.00

(注)株式会社メイホクは松浦宏典社長の資産管理会社である。  
(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

#### リサーチ部

佐木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として本レポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)」に基づく表示>

1. フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. フィリップ証券は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定または福岡証券取引所の定める「特例」第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser または F-Adviser、あるいはその両方に就任する旨の契約を締結いたしております。また、フィリップ証券は、東京証券取引所の定める「特例」第135条または福岡証券取引所の定める「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。